

要望書（回答）

1 新型コロナウイルス感染症による各種経済支援事業の実施

現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の停滞から、市内の観光関連事業者は深刻な経営状況に陥っています。

既に事業者向けの各種支援事業を実施して頂いているところですが、感染症の収束後も含め、経営が悪化している中小企業等の支援策の拡充や補助制度の柔軟な運用について要望いたします。

【回答】（産業経済部商業振興課 担当）

新型コロナウイルス感染症の一層の拡大により、大きな影響を受けている飲食・サービス業、宿泊業を対象に、小規模事業者向けパッケージ第2弾として全額一般財源を活用し、（1月17日より）「苫小牧市飲食店等支援給付金事業」により10万円の給付金を行っており、688店舗の給付決定を行っております。

併せて、2月22日（月）からは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う不要不急の外出・移動の自粛により影響を受けた、市内の中小・小規模事業者（飲食店等を含んだ全業種）に対し、「事業継続支援事業」により10万円の給付金を行っており、4月12日（月）時点で781事業者の給付決定を行っております。

新型コロナウイルス感染症収束後の中小企業等の支援策の拡充・補助制度につきましては、今後の感染状況や、国や北海道が行う追加支援策などについて注視するとともに、影響調査の結果や事業者の声も踏まえて総合的に判断してまいりたいと考えております。

2 アニメツーリズム事業及びフィルムコミッション事業の推進

本市には、縁がある人気アニメ、映画・ドラマ等でロケ地となった作品が多くあり、それらの素材を活用した集客事業を市と共に展開しております。

道内外から多くのファンがロケ地を巡る為に本市を訪れ、製作した関連グッズを買い求める等、近隣他市町にない取組として、話題性と経済効果をもたらしていると実感しております。

つきましては、アニメツーリズム事業及びフィルムコミッション支援事業について、継続して実施頂きますよう要望いたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

アニメツーリズム推進事業につきましては、これまで「機動警察パトレイバー」、「僕だけがいない街」の作品を活用し、貴協会と協働で本市の知名度向上や誘客促進

に取り組んでまいりましたが、令和2年度からは、新たに苫小牧出身の登場人物が活躍する高校野球を舞台とした作品「ダイヤのA」を加え、コロナ禍においてもインターネットを活用し、ブログ配信や無観客トークショーを開催するなどの事業を展開いたしました。

また、フィルムコミッションについても、映画やドラマのロケ地となった際には、道内外からファンの方が訪れるなど多くの集客効果や経済効果が見込めることから、撮影に適した本市の観光資源の紹介や撮影支援に積極的に取り組んでいるところです。

今後についても、アニメ等の作品活用や映画撮影支援など誘客に効果的な事業を継続し、貴協会と連携しながら本市の更なる知名度向上や交流人口の増加に取り組んでまいりたいと考えております。

3 とまチョップ生誕10周年記念事業について

苫小牧市公式キャラクター「とまチョップ」は、幅広い世代の方々に愛されるキャラクターとして成長しました。2021年には、誕生10年の節目を迎えることから、内外への更なるPRと謝恩の意を込めた記念事業の開催について、ご検討頂きますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部まちづくり推進課 担当）

苫小牧市公式キャラクター「とまチョップ」の生誕10周年記念事業につきましては、とまチョップを応援いただいた感謝の気持ちをこめて、生誕10周年記念ロゴマークの製作や、道内や全国のキャラクターを招待したキャラクターイベントを計画しているところであり、これらの取組を通じて、本市のPRに繋げてまいりたいと考えております。

4 苫小牧市観光振興ビジョンに基づいた事業の推進

観光振興ビジョンに基づき、誘客促進に向けた諸事業を苫小牧市と共に実施しているところですが、継続と連動が重要であると認識しております。

また、2020には民族共生象徴空間や苫小牧中央ICが開設されたことから、本市への入込客数増加も大いに期待されます。

つきましては、観光インフラの整備や誘客事業の更なる取り組みについて、本協会及び関係機関と協働のもと推進して頂きますよう要望いたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

「苫小牧市観光振興ビジョン」は、本市の特性や魅力を再認識し、長期的な視点で観光振興に取り組み、交流人口の増加による地域経済の活性化を目的として平成28年2月に策定されております。

これまで観光振興の発展及び評価指標の達成に向け、貴協会と連携して産業観光の推進や道外観光客誘客プロモーション活動の強化、外国人観光客受入セミナーの開催などの事業を展開してきたところでございます。

しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大影響により、観光入込客数などは大きく減少しました。そのため、今後の観光需要の立て直しを図るため、苫小牧中央IC開設による交通アクセスの良さなどの本市の優位性を効果的にPRしながら、貴協会をはじめ関係機関等との協働により、観光施策や誘客促進に取り組んでまいりたいと考えております。

5 ふるさと納税返礼品受託事業の継続と強化

平成26年度より、ふるさと納税をしてくれた方に対し、お礼の品を送付しているところですが、本協会は返礼品の選定と送付業務等について当初より携わっております。

本市特産品と本協会会員事業者のPRに有効であると共に、本協会の財務基盤安定にも繋がることから、本事業のPR強化並びに受託業務の継続について要望いたします。

【回答】（総合政策部政策推進課 担当）

本市のふるさと納税におきまして、平成27年9月から平成29年3月までは苫小牧観光協会への返礼品配送業務を委託しており、その後は、返礼品の選定及び開発業務を担っていただいているところです。

法改正や制度の認知度向上、クレジット決済導入等のさまざまな要因により寄附件数が増加し、令和2年度の寄附額は約5億8千万円となっております。件数が大幅に増加しているため、平成30年4月より寄附の受付から返礼品発注等の処理業務まで一括して、対応可能な業者へ委託しております。

返礼品については、総務省から厳しい基準が示されていることから、観光協会の知見が必要と考えており、引き続き、返礼品選定及び開発業務を依頼し、特産品及び事業者のPRに努めてまいります。さらには、広告掲載やサイトの増設等により本事業のPR強化を図ってまいります。

6 観光事業の推進体制の強化

本協会は平成3年7月に社団法人として認可を受け、その役割を担い、各種事業を

展開して参りましたが運営状況は依然脆弱です。本市観光振興の一助を担うべく、事業の拡充と発展に向けて鋭意努力しておりますので、より一層のご理解とご支援をお願いいたします。

- (1) (一社) 苫小牧観光協会の運営に対し、人的・財政的支援の継続
- (2) 行政施策における観光事業の計画と協会事業の連携
- (3) 観光事業に関する各種補助事業及び助成事業等の情報提供と、それら事業申請・実施にむけた協力と支援

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

- (1) 貴協会は、観光客の誘致や観光資源の開発、特産品の普及などを通して、本市の観光事業の発展に大きく寄与しており、観光振興を進めるうえで重要な役割を果たしていると考えております。このことから、職員の派遣や財政的な支援を今後も継続し、貴協会の運営を支援してまいりたいと考えております。
- (2) 「苫小牧市観光振興ビジョン」の推進や観光入込客数などの評価指標の達成に向け、貴協会や関係機関等の御協力は不可欠と認識しております。そのため、今後も連携を図りながら、昨今のコロナ禍のなかで変化する観光ニーズなどを的確に捉え、共に観光振興を進めてまいりたいと考えております。
- (3) 観光事業に関する国や道の助成制度等については情報共有を図るとともに、事業実施に向けた協力や支援についても継続して実施してまいります。